

会 議 録				
平成23年度第5回 社会教育委員の会議	日 時	平成23年10月19日(水) 午前9時30分～11時00分	場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	伊藤、倉持、小林、田尻、樹、中村、本川、本多、松田 各委員 欠席 倉持委員		
	その他	向井教育長、天野生涯学習部長、尾崎生涯学習課長、宮腰林スポーツ振興担当課長、田中図書館長、大関公民館長		
	事務局	林生涯学習係主事、		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 第26期小金井市社会教育委員委嘱状伝達式				
(1) 委嘱状伝達				
(2) 教育長あいさつ				
(3) 委員紹介				
(4) 事務局紹介				
(5) 正副議長選出				
2. 協議事項				
(1) 引継ぎ事項について				
(2) 平成24年度の会議日程について				
(3) 平成24年度の視察研修日程について				
(4) 小委員会委員の選任及び日程の検討について				
(5) その他				
3. 報告事項				
(1) 青少年のための科学の祭典について				
(2) 放課後子ども教室について				
(3) 市民スポーツレクリエーションの集いについて				
(4) 第12期図書館協議会委員の委嘱について				
(5) 第31期公民館運営審議会委員の委嘱について				
(6) その他				

1. 委嘱状伝達式

(1) 委嘱状伝達

向井教育長から委嘱状の伝達がされた。任期は平成23年9月9日から平成25年9月8日まで。

(2) 教育長挨拶

第26期社会教育委員の会議の第1回目ということであるので、あいさつをさせていただきたいと思う。今期の委員の皆様におかれては新しくなられた方お一人ということで、経験豊富な委員が非常に多い委員会だなということで、この社会教育委員の会議が大変幅広い内容をご協議いただくので、こういう経験豊富な皆様に残っていただいているということはある意味では心強く思っているところである。どうぞよろしく願います。過日、委員長のほうから社会教育委員会の方で2年間にわたってご協議いただいた「生涯学習センターの創設に向けて」と題するまとめを頂戴した。これまた過日の教育委員会で私のほうから教育委員の皆さんに紹介させていただき、ぜひ一読願いたいということをお願いしたところである。今後教育委員会内部でもこのまとめを参考にさせていただいて、施策に反映していきたい、このように思っているところである。最後となるが、皆様は地域で市民と行政とさまざまな形でパイプ役となっていたいただきたいと思うし、また地域でのリーダーとしてもご活躍いただきたい、このように願っているところである。何かとお忙しい中でのお仕事ということになるが、ぜひよろしく願い申し上げて私からのあいさつとさせていただく。どうぞよろしく願います。

(3) 委員紹介

(尾崎生涯学習課長)

続いて各委員の自己紹介に移りたいと思う。新しく来た方もいらっしゃるので、よろしく願いしたいと思う。順番については五十音順で願います。

(伊藤委員)

市民公募で3期目の伊藤と申す。手探り状態でやってきて、前任の方々からのいろいろな引継ぎ事項もあって、まだまだ宿題は山積みの状態である。1つでも2つでも今期中の間に少しでもものになればいいなと思って頑張りたいと思うので、よろしくどうぞ願います。

(小林委員)

小林智恵子と申す。よろしく願います。市民公募で3期目となる。どうぞよろしく願います。

(樹委員)

樹一美と申す。よろしく願います。P～ステップという社会教育団体から推薦されている。1期目を終えて、ほんとうに手探りの2年間ではあったけれども、最後にまとめを1つつくることができて、ほっとしているが、また26期、新たな気持ちで頑張っ

てまいりたいと思う。どうぞよろしく願います。

(佐野委員)

佐野郁蔵と申す。財団法人小金井市体育協会から推薦されて社会教育委員になっている。よろしく願います。

(中村委員)

中村彰宏と申す。よろしく願います。社会教育委員2期目になる。こちらの社会教育委員の会議から推薦ということで、貫井北町の地域センターの委員と、それから前原小学校の学校連絡運営委員というのをやらせていただいている。今後ともよろしく願います。

(本川委員)

本川交である。社会教育団体国際ソロプチミスト東京ー小金井から推薦されている。皆さんとご協力させていただきながら働きたいと思っている。どうぞよろしく願います。

(本多委員)

本多正子である。よろしく願います。小金井市文化連盟から推薦され2期目を務めさせていただく。よろしく願います。

(松田委員)

小金井市立小中学校PTA連合会からされた松田と申す。小金井二中のPTA会長をやっている。よろしく願います。

(4) 事務局紹介

天野生涯学習部長・尾崎生涯学習課長・宮腰スポーツ振興担当課長・田中図書館長・大関公民館長・林生涯学習係主事の紹介があった。

(5) 正副議長選出

(尾崎生涯学習課長)

それでは議事に移りたいと思う。まず初めに小金井市社会教育委員会議規則第2条によって議長及び副議長の互選を行いたいと思う。議長の選出までの間、仮の議長を天野生涯学習部長に願います。

(天野生涯学習部長)

それでは、議長選出までの間、仮の議長として議事進行を務めさせていただくので、よろしく願います。直ちに議事に入る。議題は議長及び副議長の互選についてである。議長の互選については、小金井市社会教育委員会議規則により委員の互選によって定めるとしている。それでは初めに選出方法だが、従前の例により指名推選による方法で決めたいと思うが、皆さんいかがか。

(拍 手)

(天野生涯学習部長)

ありがとう。拍手で承認されたので、それでは、どなたかご推薦をいただけるだろうか。

(本多委員)

前任の本川委員を推薦する。

(天野生涯学習部長)

わかった。他にどなたかご推薦あるだろうか。それでは、ただいま本多委員からご推薦いただいて、本川委員ということだが、皆さんよろしいだろうか。

(拍 手)

(天野生涯学習部長)

異議なしということで、満場一致ということで本川委員に決定したいと思う。それでは、議長席のほうにお願いします。

(本川議長)

ただいま議長に選任された本川交である。どうぞよろしくお願いします。

それでは、続いて議長の補佐をする副議長の選任をしたいと思う。どなたかご推薦いただけるだろうか。

(中村委員)

前期に引き続き伊藤委員を推薦する。

(伊藤委員)

はい。

(本川議長)

伊藤さんを副議長にご推薦いただいた。皆さんご承認いただけるだろうか。

(拍 手)

(本川議長)

ありがとう。それでは、一言ごあいさつをお願いします。

(伊藤副議長)

全力を尽くして頑張るので、今まで以上のサポートをよろしくお願いしたいと思う。

(本川議長)

よろしくお願いします。

2. 協議事項

(1) 引継ぎ事項について

(尾崎生涯学習課長)

5期のほうから引継ぎ事項というのは特になかったが、よろしかったか。

(本川議長)

今回は特にない。

(2) 平成24年度の会議日程について

(事務局)

来年24年度に向けて、801会議室を予約する必要があるため、会議日程の検討をお願いしたい。

(本川議長)

前期は第3水曜日午前9時半から11時半までという予定でさせていただいているが、学校からの推薦の田尻先生があまり来られなかったと思う。

(尾崎生涯学習課長)

田尻先生からは第1木曜日と第2水曜日とが都合が悪いというのは事前に伺っている。

(本川議長)

第1木曜日と第2水曜日。基本的には今後も第3水曜日を基本にして大丈夫だろうか。年8回開催。そのうちの1回が三者合同会議である。

(尾崎生涯学習課長)

田尻委員は今いないが、11時ぐらいにいらっしゃるということなので、そこでもう一度確認したい。

(本川議長)

では、そのようにさせていただく。今のところ第3水曜日9時半からということで。

(事務局)

すまない。1点だけ確認させていただいてよろしいだろうか。例年お盆は1週ずらして午後にする形になっておったが、今年度はいかがか。

(本川議長)

その予定で結構である。

(3) 平成24年度の視察研修日程について

(尾崎生涯学習課長)

視察研修の日程と行く先について決めていただきたいと思う。基本的には首都圏内ということで、約100キロ圏の場所で選んでいただければと思う。

(本川議長)

5月は忙しいが皆様で事前に予定していただければ。5月でいかがか。よろしいか。行き先は先ほどの武蔵野プレイスだったか。それ以外にどこかよさそうな場所はあるか。ご意見ないか。それでは第1候補ということで、予定させていただく。よろしいか。

(4) 小委員会委員の選任及び日程の検討について

(本川議長)

小委員会委員についてだが、今日は欠席委員がいるので後日決定したいと思う。日程は新委員で協議する。

2. 報告事項

(1) 青少年のための科学の祭典について

(尾崎生涯学習課長)

2011年青少年のための科学の祭典について報告する。青少年のための科学の祭典は、9月11日日曜日、東京学芸大学のキャンパスを会場に開催した。天候にも恵まれ、午前9時30分から開会した。新しい取り組みとして、開会式の司会を中学生にお願いした。開館時間については午前10時から午後4時半まで行われて、入場者は7,330人の方にご来場いただき、科学の楽しさを体感していただいたというふうに考えている。

また、中学生ボランティアは申し込みが108名あって、当日の欠席もあったので、実質的には100名程度であった。感想文を見ていると、非常に楽しかったとか、またやってみたくとか、いろいろな思いがあって、ボランティアをやることによって子どもたちがその部分だけでも結構成長しているのかなというのが感想文からも類推することができる。以上である。

(本川議長)

田尻先生、科学の祭典のことについて話を報告しているが、小中学生の作品展で、何かお気づきのことがあったらどうか。聞かせていただきたいと思う。

(田尻委員)

前半は出席させていただいて、学校の様子等お伝えできていたのだが、後期は校長会の研修会、第2水曜日ということで同じ日の同じ時間帯ということで、校長研修会と社会教育委員の会議が隣で大変心苦しかった。ご迷惑をおかけしたと思っている。

科学の祭典の小中学校の作品は定着してきた。各学校10点なのだが、どれも素晴らしく選ぶのが難しい。子どもの発想力は本当に素晴らしいと感じた。

(本川議長)

このイベントが小金井の教育力を上げるきっかけになったらうれしいかなと思っている。

(2) 放課後子ども教室について

(尾崎生涯学習課長)

資料をごらんいただきたいと思う。資料1になるけれども、小金井市放課後子ども教室安全対策指針(案)ということで、昨日放課後子ども教室の運営委員会があって、事務局としての案を出させていただいた。3・11の震災からいろいろ運営委員会の中でも震災に対する備えをするべきであるという意見も出ており、今回、参考までに社会教育委員の皆様にもご理解いただきたいということで資料としてお配りさせていただいた。後ほどごらんいただきたいと思う。

もう一点だが、この中では資料3になる。平成24年度の放課後子ども教室推進事業準備のためのアンケート調査ということで、基本的には来年度の予算要求の関係で、各団体でどの程度の事業をやるのかというアンケートをとるということである。

基本的な考え方として、来年度、事業のあり方を変えようというようなことを前から運営委員会、また、実行委員会等でもいろいろ検討していて、今までのやり方だと、1つの小金井市放課後子ども教室実行委員会という組織があるのだが、そこに業務、放課後子ども教室の事業を全部委託して、その会が各学校から上がってくる事業計画を出してもらって、事業配分していたというような形だったのだけれども、来年度からは、委託のやり方自体を各小学校区に事業を直接市から委託するような形式に移行していきたいということである。資料4のところにもあるけれども、受託の要件とかあって、実行委員会を通じなきゃいけないとか、コーディネーターを選任しなければいけない。あと、年間50回以上の教室を学校区でやらなくてははいけないとか、そういうような条件をつけながら、より運営を充実させるとともに、資金のほうも充実を図っていきたいというような思いで、運営支援員やコーディネーターの謝礼も各学校区に1人ずつ置くような体制をつくったりとか、教室を実施するに当たって準備したりするのはボランティアでやっていただいて、かなり負担になっていたというようなこともございましたので、そういった準備に当たる方についても少し謝礼を出したりとかいうことを図りながら、この事業の充実を図っていきたいというような思いで、こういったアンケートをとるとのことである。以上である。

(本川議長)

ありがとう。何かご質問あるか。

(樹委員)

放課後子ども教室の運営委員会のほうでは、4月からずっと地震等の災害時の子どもの安全確保のためにどうすればいいのかというようなことをずっと検討してきたが、これは大変難しい問題である。市の学校教育としての安全の指針と放課後子ども教室の指針を今後はすり合わせをしながら、今年度末を目指してきちんとしたものをつくってこうという方向になっている。保護者が安心して預けられる放課後子ども教室を運営していくことがまずは第一かなと思っている。

(3) 市民スポーツレクリエーションの集いについて

(宮腰スポーツ担当課長)

お手元にお配りした資料をごらんいただきたい。体育の日に小金井市総合体育館でスポーツレクリエーションの集いを実施した。この事業は、毎年体育の日に実施しているものであって、スポーツ基本法でも、地方公共団体は体育の日にはスポーツへの理解を深め、スポーツを行う意欲が高揚する行事の実施に努めなくてはならないと定められていて、例年、毎年体育の日にだれでも参加できるような事業を行っている。内容及び参加者数についてはお配りした資料のとおりである。小金井市体育協会さんとNPO法人小金井倶楽部さんに協力をお願いして実施し、合計で807人の参加があった。当日、社会教育委員の皆さんにも現地に足をお運びいただいたことについてお礼を申し上げる。また、当日は体育の日の事業として、体育施設の無料開放を行った。資料の下のほ

うに書いてあるが、総合体育館及び栗山公園健康運動センター、この2カ所、有料施設だが、この日に限って無料開放して、合計で1,020人の利用があった。以上である。

(4) 第12期図書館協議会委員の委嘱について

(田中図書館長)

それでは、小金井市図書館協議会委員の委嘱についてご報告する。小金井市図書館協議会は、平成元年から図書館長の諮問に応じ、意見を述べる機関として設置されているが、現在第12期図書館協議会委員は、平成23年10月末日をもって任期満了となる。よって、小金井市図書館協議会委員候補者選定要綱に基づき、第12期委員を選出し、さきの教育委員会で承認されたものである。今回、根拠となる小金井市図書館協議会条例の一部改正を行い、これまで学識経験者4人であったものを3人とし、新たに家庭教育の向上に資する活動を行う者という選出枠を設け、1名選出した。改正条例については資料の最後のほうにおつけしているものが改正条例である。それから、委員については名簿のとおりである。社会教育委員の会議のほうからは小林委員のほうでご選出いただいている。次に、資料2をごらんいただけるだろうか。概要であるが、まず3の男女比だが、男性3人、女性7人となっている。なお、前期については女性6人、男性4人であったので、女性の比率が高くなった理由であるが、団体などからの推薦委員が4人いたのだが、すべて女性であったことが大きな理由となっている。次に、4の平均年齢だが、全体平均は55歳であった。なお、前期委員については平均で57歳。最高年齢71歳、最低年齢42歳であった。以上である。

(5) 第31期公民館運営審議会委員の委嘱について

(大関公民館長)

それでは、第31期公民館運営審議会委員の選任についてご報告をさせていただく。第30期の公民館運営審議会委員が本年9月8日をもって任期満了となったことに伴い、第31期の公運審委員10名の選出を行った。別紙資料のとおり、この10名の方については、小金井市公民館運営審議会規則及び小金井市公民館運営審議会委員候補者選出要綱に基づいて候補者名簿に登載していたが、8月23日の第9回教育委員会においてご議決をいただいたので、9月16日の第31期公民館運営審議会の第1回目の会議において10人に委嘱状を交付したので、よろしく願います。10名の委員については、新任者が5名、再任者5名で、男女比については50%ずつである。平均年齢はちょうど60歳である。以上である。

(本川議長)

委員長、副委員長は決まったか。

(大関公民館長)

東京学芸大学の佐々木幸寿委員が委員長である。公募委員の藤井哲彦委員が副委員長である。

(本川議長)

図書館協議会長さんが決まったら報告をお願いします。

(田中図書館長)

わかった。

(尾崎生涯学習課長)

社会教育委員の皆さんの任期が変わったが、社会教育委員の会議から推薦された委員については引き続き任期まで務めるということでよろしいか。

(本川議長)

みなさんよろしいだろうか。無いようなのでそれで結構である。そのほかはあるか。

(尾崎生涯学習課長)

生涯学習関連施設の台風15号の被害状況を簡単にご報告する。大きな被害はなかったが、文化財センターのガラス窓が1枚割れ、図書館等の雨漏り等があった程度で、大きな被害はなかった。

(天野生涯学習部長)

第3回定例会、議会の報告をさせていただく。議案についてだが、議案第47号、小金井市図書館協議会条例の一部を改正する条例についてはご議決をいただいたところである。改正条例の中味については、学識の方を4名から3名にし、新たに家庭教育の向上に資する活動を行う者というものを1名増したところである。また、スポーツ基本法に係るスポーツ推進員の報酬規定である特別職の給与に関する条例の一部改正、こちら文言訂正であるが、こちらについてもご議決をいただいた。続いて一般質問についてだが、生涯学習部においては1名の議員の方から1件の質問をいただいた。内容については、スポーツ振興環境のさらなる向上をとということで、スポーツ関連団体の競技の場は十分確保されているか、スポーツ推進審議会の設置についてという質問をいただいたところである。予算特別委員会において、生涯学習部関係の補正であるが、自治総合センターコミュニティ助成金を活用して10分の10で、その他公民館事業に要する経費250万円、備品購入、デジタルカメラとか、スクリーン、ホワイトボード、譜面台、裁断機等を購入する予算が議決されたところである。決算特別委員会でもご意見をいただいた。市史編さん事業のさらなる向上をととか、公民館事業における多世代交流の促進、図書館と学校図書との連携、図書館への市民利用のパソコン導入について等のご意見をいただいたところである。以上である。

(6) その他

(本川議長)

田尻先生がいらしたので会議の日程を再度確認する。事務局のほうから先ほど来年度の日程について決めるようにと言われたのだが、先生は第1木曜日と第2水曜日のご都合が悪いということだが、現在、本会議のほうは第3水曜日の午前中ということで9時半から11時半まで予定させていただいているのだが、いかがか。

(尾崎生涯学習課長)

前回と同じ第3水曜日だが。研修会は第3水曜日ではないということよろしいか。

(田尻委員)

ほとんど第2水曜日である。1週目に定例校長会があるのだが、校長研修会は基本的に第2水曜日である。

(尾崎生涯学習課長)

第3水曜日であれば基本的には問題ないということよろしいか。

(田尻委員)

結構である。

(本川議長)

では、従前通りでよろしいか。第3水曜日の9時半から11時半までということをお願いする。

以上